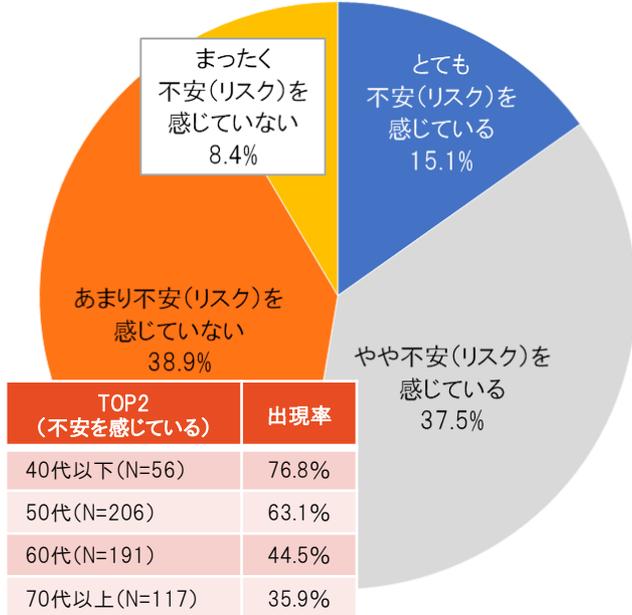


# 速報データ

---

- 高コレステロール血症で不安(リスク)を感じている人が半数程度となり、40代以下では8割近くを占める。
- 薬物治療の総合満足度は平均で「71.53」点と高め。一方、40代以下は「63.93」点とあまり高くない。

高コレステロール血症で  
不安(リスク)を感じているか (SA)  
(N=570)



薬物治療の満足度 (ウエイト平均)

	総合満足度 (平均点)	効果満足度 (平均値)
全体(N=570)	71.53	0.81
男性(N=384)	71.12	0.79
女性(N=186)	72.37	0.85
40代以下(N=56)	63.93	0.54
50代(N=206)	70.83	0.76
60代(N=191)	73.40	0.87
70代以上(N=117)	73.33	0.94
一次予防(N=524)	71.51	0.82
二次予防(N=46)	71.74	0.70
家族性以外(N=424)	71.39	0.79
家族性(N=146)	71.92	0.88

【効果満足度の選択肢(SA)】

選択肢	ウエイト値
大変満足している	2.00
やや満足している	1.00
どちらともいえない	0.00
あまり満足していない	-1.00
まったく満足していない	-2.00

- 高コレステロール血症で(とても・やや)不安(リスク)を感じている人は52.6%と全体の半数程度。年代別では、40代以下で76.8%と8割近くが不安(リスク)を感じている結果となった。
- また、高コレステロール血症の薬物治療(飲み薬、皮下注射薬)における総合満足度について、「0点」(非常に不満足)～「100点」(非常に満足)の11段階(10点刻み)で評価してもらい、各患者属性別(性別・年代・冠動脈疾患の発症状況・病型)に集計すると、全体の平均点は「71.53」点となり、治療満足度は高め。一方、40代以下は「63.93」点と他の患者属性に比べて、あまり高くない。
- さらに、薬物治療の効果満足度について、右表の選択肢をウエイト値に換算して、平均値を算出したところ、全体平均は「0.81」となり、「やや満足している」の基準値(1.00)に近い数値となった。なお、総合満足度同様に40代以下(0.54)では、他の患者属性に比べて低い結果となっている。